

令和4年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,158,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,297.26㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,984	9,186	6,582	4,846	6,364
	移動児童館利用者数	283	200	122	85	0
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※10(9)	※7(5)	※5(5)	※2(1)	0
	開館日数(単位:日)	151	155	151	94	150

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①適正に実施している。 開館時間を16:30までとし、16:30以降30分間を館内消毒・清掃時間としコロナ対策に努めました。 ②職員3人(所長、常勤職員2人)(うち児童厚生員2人) ③児童用と乳幼児用のおたよりをホームページにUPしました。 乳幼児用行事案内は、来館された皆様にわかるように大きく掲示しました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としました。児童・保護者を対象にアンケートを年間2回実施しました。(下半期は1回)ご意見箱に寄せられた苦情・意見、児童館運営委員会での意見、アンケート結果は、逐次館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき日常点検・消防用設備の点検・遊具設備及び建物点検等適切保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃と就労継続支援B型事業所による週2回の館内清掃を実施しました。玩具等の定期的な消毒と閉館後の清掃及び玩具・遊具の消毒をし、感染防止対策を徹底しました。園内の草取りや落ち葉の清掃、花壇の手入れを行うなど環境整備にも努めました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及びラップ芯などの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 おもちゃ病院におもちゃの修理を依頼して、安全にかつ大切におもちゃを使用しました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の点検、毎日の消毒、清掃を行い、遊具・玩具、設備、備品の維持管理に努めました。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。利用者の安全性が確保できないものは、安全が確保されるまで利用中止としました。軽微で予算内で対応可能なものは直ちに業者へ修理を依頼しました。(雨漏り修繕) ②建物等大規模修繕は、岐阜市社会福祉事業団事務局を通して、岐阜市へ要望を提出しました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。また、災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を維持しています。個人情報が記載された用紙は、使用后すべてシュレッダ処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。また年2回消防訓練を実施(7月)、年1回、非常用備品の確認を行い、期限の確認と不足品の補充も実施しました。マニュアルに沿った適切な対応及び消防訓練の実施をし、警察・消防への適切な対応の徹底と警備会社との連携をしています。

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和5年2月22日～令和5年3月12日 回答者数: 50人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和5年2月18日～令和5年2月25日 回答者数: 50人(小学: 1年2人、2年7人、3年8人、4年7人、5年16人、6年7人) (中学: 1年1人、2年1人、3年1人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)</p>
利用者アンケートの 実施結果	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 長森南(18人)、長森東(10人)、長森北(9人)、長森西(7人)、日野(3人)、その他市内(2人)、その他市外(1人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(12%)、30代(78%)、40代(8%)、50代以上(2%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(0%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(14%)、週1回(24%)、2週に1回(50%)、月1回(10%)、その他(2%)</p> <p>【来館相手】 子(98%)、孫(2%)、友人(0%)、その他(0%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(5%)、1歳(37%)、2歳(36%)、3歳以上(20%)、無回答(2%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(7%)、自転車(6%)、自家用車(85%)、公共交通機関(0%)、その他(0%)、無回答(2%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(44%)、広報紙・チラシ(0%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(4%)、知人・友人(34%)、ぎふ子育て応援アプリ(5%)、ソーシャルメディア(2%)、その他(11%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(92%)、ほぼ満足(8%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(80%)、ほぼ満足(16%)、普通(2%)、やや不満(2%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(88%)、ほぼ満足(6%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(78%)、ほぼ満足(12%)、普通(10%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(86%)、ほぼ満足(12%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 長森北小(31人)、長森東小(9人)、長森中(4人)、長森西小(3人)、その他市外(3人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(4%)、2年(14%)、3年(16%)、4年(14%)、5年(32%)、6年(14%) 中学: 1年(2%)、2年(2%)、3年(2%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(2%)、週4・5回(4%)、週2・3回(18%)、週1回(22%)、その他(50%)、無回答(2%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(15%)、友人(61%)、兄弟姉妹(15%)、父母(9%)、祖父母(0%)、親戚(0%)、その他(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(28%)、自転車(56%)、自家用車(14%)、バス・電車(0%)、その他(2%)</p> <p>【好きな遊び】 サッカーゲーム(20%)、カラム(18%)、ボードゲーム(16%)、まんが(13%)、ぬりえ(9%)、パズル(8%)、その他(16%)</p>

利用者からの
要望・苦情と
対処・改善

<保護者>

- ・駐車場がもう少し多いといい。
→満車の場合は誘導します。
- ・ままごとの道具がもう少し充実するといいなと思いました。
→3月13日よりコロナで片付けていたままごとセットを出しました。ご利用ください。
- ・新しいおもちゃが増えるといい。
→今年度は消毒の方に予算がまわってしまいましたが、来年度は購入していきます。
- ・おもちゃを新しくしてくれると嬉しいです。
→今年度は消毒の方に予算がまわってしまいましたが、来年度は購入していきます。
- ・幼児室の滑り台がなくなってしまったので、また幼児が遊べる遊具が欲しいです。
→今年度は消毒の方に予算がまわってしまいましたが、来年度は購入していきます。
- ・たまに壊れるおもちゃがあるので撤去するなりしてほしい。
→教えていただけますでしょうか。対応します。
- ・足元が寒い。
→床暖房はないので、自分の上履きを持ってきていただけると助かります。よろしくお願いします。
(クラブへの意見)
- ・足形アート楽しみです。是非定期的にやって欲しいです。ハロウインの時のおねんねアートや身長体重を測る機会も欲しいです。
→機会は増やしてまいります。
- ・もう少し回数があるといい。
→登録制幼児クラブは2グループに分かれているため、1グループの回数は少なめに感じられると思います。自由参加幼児クラブもあるので、そちらにも参加していただけると幸いです。

<児童>

- ・携帯電話をいじることに対してもう少しゆるく取り締まってほしい
→持っていない小学生が見たくなるし、ここでのゲームで遊んでほしいのでご協力をお願いします。
- ・なぜインターネットがないのか
→みんなで手、体を動かして遊んでほしいからです。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				A
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A
⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			S	S	S
区分評価				S		
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□申し込み制の幼児対象講座の開設(効果性③) ・9月に「リトミック」を開催したところ、再びやりたいというニーズから、申し込み制の幼児クラブとして1回の予定でしたが、11月、3月に2回開催しました。両日も満席で、終わった後には「次回はいつですか？楽しかったのでまた参加したいです」との声をいただきました。 □新規事業(行事)等の実施(効果性③) ・馬頭琴演奏会を開催しました。 ・トランプ遊びを開催しました。 □事業改善(効果性③) ・3年ぶりにオセロ大会・カロム大会・トランプ遊び・ドミノならべのようなゲーム遊びの行事を復活しました。 子どもたちのコミュニケーションの場を増やしていければと考え開催した結果、行事目当てに来た子はもちろん、その場にいる子も参加してにぎわいました。 オセロ大会では、コロナ禍中に、オセロを家でやっていた子がたくさんいたようで、腕試しに、予想を上回る12人の小学生がオセロ大会に参加し、白熱した勝負をしました。優勝者の名前を児童センターに掲示するかは優勝者と相談して決め、掲示したところ、次回は掲示して欲しい子が名乗りをあげて、2回目も実施したところ意気込んで参加していました。カロム大会でも同様に優勝者の名前を掲示したところ、こちらも次回は掲示して欲しい子が名乗りをあげました。 □中学生ボランティア育成(効果性③、貢献性⑭) ・中学生に行事ボランティアをやってもらう機会を提供しました。長森中学校2年生の女の子が4月からボランティアをやり始め、2月までに長森児童センターだけで20回以上の行事ボランティアをやってくれました。それに対して長森中学校区児童・生徒を育てる連絡協議会、善行表彰に児童センターから推薦し、表彰されました。長森中学校2年生の女の子は喜んで表彰された日に賞状を見せに来てくれて、「受験生になるけれど、できる日があれば、ボランティアをやりに来る」と言ってくれました。 □移動児童館(効果性⑤、貢献性⑭) ・移動児童館 10回 初めて子ども会からの依頼があり、体育館でのゲーム遊びを提供できました。 □実習生受入れ(貢献性⑭) 東海学院大学の学生を11月1人、12月に4人の実習生受けました。児童館を知ってもらうと同時に、現状の幼児・小学生・保護者の方に実際に関わる体験をしてもらうことができました。2月に実習生の卒論発表(手作り大型絵本)発表も計画していましたが、残念ながら、学生の都合により中止になりました。 □施設管理(効率性⑨) ・燃料費高騰に伴い、「只今節電中です ご協力をお願いします。」の張り紙をしながら、太陽の光が降り注ぐ場所、使用していない部屋の消灯に努めました。その結果、令和3年度電気使用量は11.242KWでしたが、令和4年度下半期は9.447KWとなり、削減できました。 ・保育所共同の花壇を保育所の方が整備され児童センターのエリアも整備していただけました。そこにはお花を購入するのではなく、園内のすいせんを移植することによって、支出を抑えることができました。 ・ペットボトル・ラップ芯などをリサイクル活用しました。 □日常(効果性⑤) ・遊戯室での運動遊びを解禁しました。ボール、または卓球で、時間制限ありますが、寒い日、雨降りの日は楽しく遊ぶ姿がみられます。小学生の姿が増えてきました。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>□中学生ボランティアに行事の手伝いをしてもらったり、近隣の中学校の校内放送でボランティアの参加をよびかけるなど、積極的にボランティア育成に努めている。 長森中学校区児童・生徒を育てる連絡協議会、善行表彰に児童センターから推薦し、表彰してもらうことによって、やる気のアップに繋がれたと思います。 □利用者の要望に応じて夏休み期間に幼児クラブを開催したり、幼児クラブの実施回数を増加させたりするなど、利用者の満足度がたかまるような業務改善を行っている。 夏休み期間の改善からは、引き続き5月の自由参加幼児クラブを継続しています。毎回参加される方もいて、賑わっています。 □城郭検定の資格を持つ職員によるお城講座の実施や人気の高い職員手作りの木のパズルの新規製作など、職員の資質を活かした事業に努めている。 お城講座はR5年度に他の児童館に出張講座を開催することになりました。各児童館の特技、職員の特技を共有できるようにしていければと考えています。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□広報活動の充実 ・児童センターの活動内容はホームページにて積極的な発信に努めます。下半期アンケートでInstagramを活用する提案をいただいたので、取り入れを目指します。 □利用者ニーズに沿った事業実施 ・家族や友達と、遊びやすい、過ごしやすい環境を要望と現状の把握から追求していきます。 □子育て支援事業 ・主任児童委員、青少年育成市民会議、小学校、保育所等各種関係機関との連携をして更にもっと子どもたちの成長に関わっていきます。 ・職員の知識、日々職員間で研修していることを活かして児童館運営を行っていきます。 ・サイエンスショー、リトミック、おもちゃ広場など専門家にも来てもらい、それぞれに関心を持って視野を広げてもらえるようにしていきます。</p>

●所管課の意見

- 利用者の協力を得て、使用していない部屋の電気を消すなど、電気使用量を抑え、管理経費縮減に積極的に取り組んでいる。
- 職員スキルアップ研修を実施し、他館の取組みについて知ったり、自館の取組みを紹介したりするなど、職員の資質向上に努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

子どもたちがボランティアをすることでそこに生きがいを感じることもあると思う。成人になるにつれて、地域とのつながりがどんどん減っている時代なので、こういった取り組みが広がっていくと良いと思う。

善行表彰の推薦が児童センターから出ることにはなかなかないので、地域ぐるみの取り組みができているのだと評価できる。大きくなった子どもが大人になって戻ってくることも期待できる。